２０１５年度をかえりみて

２０１５年度理事長　佐　藤　昭　義

今年度、五所川原青年会議所は「勇往邁進」～共に突き進もう希望溢れる未来を創るために～のスローガンを柱に、愛する故郷の新たな未来の為に果敢に挑戦し、「明るい豊かな社会」の実現に向け２０１５年度歩みを進めて参りました。

まずは、１月１１日開催された新年祝賀会においては総務情報発信委員会の設えの基、多数の来賓をお呼びし盛大に開催させて頂いたこと心より感謝申し上げます。私も今まで味わったこの無い緊張感の中で所信表明をさせて頂いたことをつい昨日のように思い出します。総務情報発信委員会は３月総会、７月選考委員選挙、９月通常総会、１２月定例会、基本資料、会員手帳、定例会の設営等、年間を通じて大変忙しい委員会でしたが花田委員長を始めとする委員の皆様には各委員会と連携を図りスムーズな運営をして頂いたことに対して心より感謝申し上げます。

そして、青少年育成委員会は地域の未来を担う子供達の育成にご尽力を頂きました。公益事業である「じょっぱりロードOMOＩＹＡＲＩへの旅」と「郷土愛」をテーマに事業を開催して頂きました。事業を構築される際には大変ご苦労された事と思います。四泊五日の長い旅を通じて子供達に人として大切な心「ＯＭＯＩＹＡＲＩ」の心を育んで頂いたと思っております。「郷土愛」については五所川原の歴史、立佞武多を通じて子供達に郷土の大切さを伝えて頂きました。對馬委員長におかれましては初委員長という事で中々、上程議案が通らなく挫けそうになりながらも委員に支えられ最後までやり遂げた事に心より敬意を表します。

また、昭和４８年より途絶える事無く開催している「奥津軽虫と火まつり」ですが、今年度は継承と発展をキーワードにまつり及び定例会を開催して頂きました。まつり前に開催した５月定例会、地域の高校生を対象にまつり親善大使を任命しまつりを若い世代に継承し地域に広く周知して頂きました。秋元委員長を始めとする委員の皆様に心より感謝申し上げます。今年度は「奥津軽虫と火まつり」実行委員会の実行委員長に今一憲君を任命し、その担いを一生懸命、まつり本番まで舵をとって頂きました。今実行委員長のアイディアがまつりの発展に大きく寄与されたと思っております。伝統あるまつりはいつの時代も変わること無く続けていかなくてはなりませんが、その時代に合わせて行くことも必要だと考えております。今年度のまつり継承委員会では見事、継承と発展両方達成出来たと思っております。

さらに、市民が誇れるまちづくりを目指し五所川原市と協働で「五所川原市民討議会」を開催させて頂きました。参加された市民の皆様にまちが抱える問題を浮き彫りにし、五所川原市重点プロジェクトに反映させて頂きました。そして、青年会議所と市民の皆様で運営している「らぶ・ごしょがわら実行委員会」を今年度も組織し、事業計画を立て実行して参りました。まずは、ごしょりん健康体操の普及から始まり子供達に郷土愛を育む事を目的とした事業、「五所川原探検隊」の開催や、五所川原の魅力をＰＲする為の「わがまちＣＭ大賞」の出場及びアイディア賞の受賞など様々な活動をして頂きました。市民とＪＣが協働でまちの為に一歩ずつ確実に行動を起こし、市民が誇れるまちづくりに繋がったものと確信致しました。

そして、今年度は全会員で会員拡大の目標を達成する為に会員特別室を設置させて頂きました。荒関室長には拡大の意義を会員に伝えて頂き、佐々木担当理事には会員拡大の為に企画・立案をし、異業種交流会３回を実施しました。昨年度の会員勧誘も効果を発揮し今年度、１０名の新入会員が入会致しました。会員の減少が運動の低下に繋がりかねない状況の中、今回の入会は大いに五所川原青年会議所の

活力と成る筈です。

さらに、会員の入会は非常にうれしさもありますが、五所川原青年会議所のメンバーも入会３年未満が会員の約半分となりＪＣ運動を実行する為には会員資質向上を図らなければならない為、会員資質向上委員会を設置させて頂きました。青年会議所がなぜ地域に必要なのかという部分を会員に伝え青年会所が掲げる三信条「奉仕」「修練」「友情」の意義を会員に伝えて頂きました。これから地域を担う人材の育成に繋がったものと確信致しました。

最後に今年度、理事長という大役を頂き最初は不安で一杯でした。一人で抱え込もうとして、一人で頑張らなければ勤まらないと思っておりましたが、気づいたことは一人の力は小さいものですが、私には五所川原ＪＣという素晴らしい仲間がいることを実感しました。誰かが誰かを支え共に仲間を信じ目標に向かって突き進むことが今年度の掲げたスローガン「勇往邁進」～共に突き進もう希望溢れる未来を創るために～でした。多くの気づきと学びを頂き２０１５年度、五所川原青年会議所に関った全ての皆様に感謝申し上げます。一年間本当にありがとうございました。

総務情報発信委員会

副理事長　楢　崎　誉　人

本年は総務情報発信委員会の担当副理事長として運動をして参りました。私自身、初の副理事長の職務と言う事もあり戸惑いながらの一年間でしたが、多くの方々に支えられながら役職を終えられたことに心から感謝を申し上げます。

花田委員長も慣れない事務仕事を悩みながら頑張ってくれました。総務情報発信委員会のメンバーは優秀な人材ばかりで、トラブルが起きても臨機応変に対応してくれました。その時、頼もしく感じたのを今でも覚えています。

あっという間の一年でしたが、彼らと今年一緒に仕事を出来た事に心から感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

青少年育成委員会

副理事長　上　見　一　嘉

２０１５年度青少年育成委員会担当副理事長を務めさせていただきました。予定者段階から基本方針を書きながら、今年一年委員長がどの様な委員会活動をし、地域市民に向け何を発信するのか楽しみでした。まずは、わんぱく相撲津軽地区大会、全国大会は子供達の勢いある試合から、子供たちは礼儀や思いやりの心を学ぶ事が出来ました。そして奥津軽虫と火まつり河原部会では、委員長が不在の中、副委員長が奮闘し、委員会メンバーや他のメンバーをまとめ上げ、見事河原部会を成功に導きました。じょっぱりロード２０１５・じょっぱりロード２０１５事業報告会では、「笑顔」をテーマに子供達に思いやりとは何かを学んでもらう良い機会を与えられたのではないかと思います。郷土愛を育む為の１０月定例会では、立佞武多を題材として地域の魅力を再認識し、地域を皆で良くして行く事に繋がる定例会であったと思っております。この様な一年を振り返ると、委員長を盛り上げてくれる素晴らしい委員会メンバーの皆さんと、皆に支えられ行動する素晴らしい委員長と係わりあえた事に心から感謝いたします。私は担当副理事長として至らない部分ばかりでしたが、お付き合いいただき一年間本当にありがとうございました。

まつり継承委員会

副理事長　今　　一　憲

今年度、「奥津軽虫と火まつり」実行委員長並びにまつり継承委員会副理事長を務めさせて頂きました。委員長が主導で活動した親善大使事業に関しては、高校や大学生はもちろん小学生の皆様も、このまつりの氷山の一角に触れて頂く場となりました。大人になっても、このまつりに触れたかけがえのない経験は、故郷を想う気持ちへも通ずるものであると確信いたしております。委員長をはじめとする委員会の皆様、本当お疲れ様でした。また、まつり本番に関してですが、言うまでもなく五所川原青年会議所の一大事業でもあります。ほんの３時間程のその一瞬に向け、たくさんの地域の皆様のご協力を得ながら、会員一丸で準備する中での、「大虫の昇天」は私にとっても一生の財産となりました。本当に会員の皆様、地域の皆様ありがとうございました。副理事長という立場でありながら、無我夢中で活動したのをまだ半年という月日しか経たぬ今でも少し懐かしく感じているところであります。あと数年で５０回目を迎えるこの「奥津軽虫と火まつり」。未来永劫地域の皆様とつくりあげるこのまつりに携われたことに対しまして、この場を借りて感謝御礼申し上げます。一年間、本当にありがとうございました。

市民運動促進委員会

副理事長　佐々木　邦　和

今年度、市民運動促進委員会副理事長を務めさせて頂きました。委員長の主導の下、委員が委員長をサポートする形で滞りなく事業実施できたものと考えます。五所川原市市民討議会は例年に以上の参加希望者に恵まれ、少しずつではありますが、地域に浸透していることを実感することができました。また、らぶ・ごしょがわら実行委員会での活動は、本年より運営形式を変更する形でスタートいたしましたが、青年会議所としての運動を全うできたものと感じております。次年度においても、この運動を絶やすことなく、時代に即した変化を、そしてより効果的な事業へ昇華してくださることを期待しております。初めての副理事長という職務で委員会のみなさま、理事のみなさまには多くのご苦労と多大なるご協力いただきながら職務を務めることができました。一年間、本当にありがとうございました。

会員資質向上委員会

副理事長　高　橋　美　奈

２０１５年度、資質向上委員会の担当副理事長、青森ブロック協議会に財政局長として出向し、一年間活動して参りました。資質向上委員会では、会員向けの交流会やセミナーなど数多い事業や定例会がありましたが、島村委員長率いる委員会メンバーと一丸となり、楽しく有意義に会員同士の交流を深める事、新入会員含めメンバーの資質向上につながる内容で各事業を実施する事が出来ました。
また、青森ブロック協議会の財政局長として各種会議への出席は勿論、日本青年会議所や東北地区協議会との連携で沢山の学びや気づきを得る事が出来ました。２年連続の出向は、苦労や悩み、時には孤独感も感じる事もあり、決して楽な事ではございませんでしたが、出向したからこそ出来たつながりや絆、知識の習得など、今となれば本当に良い経験となり自分自身の成長にもつながったものと確信しております。

このような担いを与え、支えてくださった、佐藤理事長はじめＬＯＭの仲間に、この場をお借りして心から感謝、御礼を申し上げます。一年間本当にありがとうございました

会員拡大室

室長　荒　関　晃　介

２０１５年度、会員拡大室室長を務めさせていただき、佐々木担当理事と各委員会からの拡大担当者と共に会員拡大運動を行ってまいりました。そして今年度は「一人一カ所運動」をテーマに掲げ、定例会では全会員に会員拡大の必要性を理解していただき、会員拡大の意識を高めていただきました。

また、事業では異業種交流会を３回開催し、ボーリング異業種交流会、初めての試みで開催した異業種女子会、今年度入会した新入会員による異業種交流会を開催し全会員を巻き込むことができたと感じております。

その中で今年度は１２名入会し、目標の二桁に達成したことは全会員での拡大運動による結果だと思っており感謝しております。一年間、本当にありがとうございました。

委員会活動報告

総務情報発信委員会

構成メンバー

副理事長　　楢崎　誉人
委 員 長　　花田憲一郎
副委員長　　髙松　一政
委　　員　　秋田　　純、工藤　晃史、成田　和代、神成修太郎、齋藤直飛人

基本方針

公益社団法人五所川原青年会議所は地域の為、市民の為に率先し「明るい豊かな社会」の実現に向け青少年育成事業・地域社会の発展に繋がる事業を展開して参りました。そして、先輩諸兄の皆様が今日までＪＣ運動を紡ぎ２０１４年度認承５０周年を迎える事となりました。その想いを絶やす事無く次なる半世紀に向け新たな一歩目を踏み出す為にも、総会を行い組織の運営管理体制を確立し各委員会の定例会の確実なサポート、さらには、ＪＣ運動を伝播していく事が必要であると考えます。

２０１５年度総務情報発信委員会としては、会員名簿の作成・基本資料の作成・新年祝賀会・総会・選考委員会委員選挙を行います。そして、各委員会・公益運営局・会員拡大室と連携を図り各委員会が行う定例会の日程を把握し設営して参ります。さらには、五所川原青年会議所全会員と情報の共有に努め総務情報発信委員会が当会の中心となり地域の皆様にホームページを活用し情報の発信をして運営管理に取り組んで参ります。

総務情報発信委員会が確実に総会を行い各委員会で行う定例会の設営を確実に実行し次なる半世紀に向け確かな一歩を踏み出す事で、我々が創造する「明るい豊かな社会」の実現に繋がると確信し、一年間邁進して参ります。

事業報告

○１月新年祝賀会

開 催 日：平成２７年１月１１日（日）
開催場所：ホテルサンルート五所川原
参加員数：対外５８名、会員３０名、合計８８名
事業内容：２０１５年度の当会の活動内容並びに方向性を関係諸団体の皆さまに発表し、認知と浸透を図った。

○基本資料・会員名簿作成

○３月通常総会

開 催 日：平成２７年３月２０日（金）
開催場所：五所川原市民学習情報センター
参加員数：会員４０名

事業内容：２０１４年度の事業報告及び収支決算を承認し、２０１５年度の事業計画を推し進める為の意識高揚を図った。

○７月定例会「選考委員会委員選挙」

開 催 日：平成２７年７月２２日（水）
開催場所：五所川原市民学習情報センター
参加員数：会員３１名
事業内容：当会役員選任規程第３条４項に基づき、次年度役員を選考する役員選考委員会を設置するため、選考委員を３名連記の無記名方式による選挙を行い、上位得票者を選出した。

○９月通常総会

開 催 日：平成２７年９月１６日（水）
開催場所：ホテルサンルート五所川原
参加員数：会員３２名
事業内容：当会の２０１６年度の役員候補者を承認し、その活動体制を整えた。

○１２月定例会

開 催 日：平成２７年１２月２０日（日）
開催場所：プラザマリュウ五所川原
参加員数：会員３８名
事業内容：当会の２０１６年度の運動方針と事業計画を会員に周知し、その活動体制を整えた。

○ＬＯＭ内褒賞の企画

○定例会の設営

か え り み て

今年一年、総務情報委員会の委員長として委員の皆さんと共に活動して参りました。
私自身総務とゆう職務は不慣れで今年一年は自分にとっての修練でした。その中で行った基本資料の作成・会員手帳の作成を始め１月新年祝賀会を無事開催し各関係諸団体に周知してもらいスタートをきる事が出来ました。２月通常総会では２月に行えない状況になり皆さんの御尽力をいただいて３月に総会を無事行えました。７月には次年度理事長候補者を決める選考委員選挙を開催し次年度候補者を決める事が出来ました。

９月には通常総会を行い役員の皆さま、委員会メンバーにフォローしていただき次年度委員長候補者を発表し総会を無事終える事が出来ました。１２月定例会の場では９月総会とは違い基本方針・収支予算案の報告を行い次年度へと繋がる懸け橋になったと思います。

今年委員長職を与えてくれ影で支えて頂いた佐藤理事長・楢崎副理事長・委員会メンバーの方々の協力には感謝の気持ちでいっぱいです。又、今年一年間支えて下さりありがとうございました。ご参加下さった会員の皆様ありがとうございました。

益社団法人 五所川原青年会議所
2015年度　新年祝賀
JCI

公益社団法人 五所川原青年会議所 2014年度
通　常　総　会
JCI

2015年度　7月定例会
考委員会委員選挙
国全国大会東北八戸大会について
JCI

公益社団法人 五所川原青年会議所
意　表　明　会

公益社団法人　五所川原青年会議所
０１５年度１２月定例会
JCI

公益社団法人　五所川原青年会
２０１５年度１２月
JCI
GOSHOGAWA

青少年育成委員会

構 成 メ ン バ ー

副理事長　　上見　一嘉
委 員 長　　對馬　幸征
副委員長　　葛西　良樹
委　　員　　乗田　正純、原田美由紀、小枝　孝太、小野　顕成、外﨑　　紳、豊澤　孝行

基 本 方 針

現代の子供達を取り巻く環境は、著しく変化し様々な問題が発生しております。その原因は多岐にわたり、いじめや不登校なども要因の一つに挙げられます。その様な環境に置かれた、子供達は学校行事や地域活動などには意欲的ではなく、子供達が無邪気に笑い遊ぶ姿を目にすることが少なくなりました。そんな子供達に、人と人とのふれあいの中で生まれる「笑顔」とは何かを考える場を提供し、住み暮らす西北五地域の魅力や郷土の美しさを、次代を担う子供達に伝えて行かなければなりません。

そこで、当委員会では「笑顔」をテーマに、人と人とのふれあいの中で「ＯＭＯＩＹＡＲＩ」を育み、礼儀作法など人格を形成する上で重要な様々な要素を学ぶことができる徒歩事業を展開して参ります。また、「わんぱく相撲」を通じて子供達が、心身の鍛錬と健康の促進を図るとともに、立ち向かう勇気や、相撲が持つ礼節により、思いやる気持ちや感謝の心を育めるように促します。さらに、私達の住み暮らす西北五地域の魅力を感じる事が出来る定例会を開催し、郷土愛に繋げて参ります。

子供達の心にある「笑顔」という蕾が、思いやりの心を学ぶ事で花を咲かせ、「未来」という名の燦々と光り輝き続ける太陽に向かい一歩一歩成長し続ける事が、やがては「明るい豊かな社会」に繋がるものと確信し一年間全力で邁進して参ります。

事 業 報 告

○第３１回わんぱく相撲津軽地区大会

開 催 日：平成２７年６月２１日（日）
開催場所：青森県武道館
参加員数：対外５０名、対内１５名、合計６５名
事業内容：子ども達が第３１回わんぱく相撲全国大会の出場権をかけた競技を行うとともに、心身を鍛練した。公益社団法人弘前青年会議所との共同開催。

○第３１回わんぱく相撲全国大会

開 催 日：平成２７年８月１日（土）、２日（日）
開催場所：東京都　両国国技館
参加員数：対外３名、対内２名、合計５名
事業内容：各地区大会を勝ち抜いた子ども達が、第３１回わんぱく相撲全国大会において日頃の鍛練の成果を存分に発揮した。公益社団法人東京青年会議所が主催。

○８月公開定例会「じょっぱりロード２０１５～ＯＭＯＩＹＡＲＩへの旅～」

開 催 日：平成２７年７月２９日（水）～８月２日（日）

開催場所：深浦～鰺ヶ沢～五所川原

参加員数：対外５７名、対内５４名、合計１１１名

事業内容：４泊５日７５ｋｍの徒歩の旅を通じて、ボランティアスタッフには大人としての自覚と責任感、利他の心、他人を思いやる気持ちを実感していただいた。また、小学生参加者にとっては親元を離れ、身の回りの全てのことをチームで行うことで気づく、親への感謝や尊敬の念、そして仲間の大切さとコミュニケーションの重要性を学んでいただいた。

○じょっぱりロード２０１５～ＯＭＯＩＹＡＲＩへの旅～　事業報告会

開 催 日：平成２７年９月１３日（日）

開催場所：五所川原市民学習情報センター

参加員数：対外４７名、対内２５名、合計７２名

事業内容：８月に開催された「じょっぱりロード２０１５～ＯＭＯＩＹＡＲＩへの旅～」に参加された小学生参加者とボランティアスタッフに旅の思い出を振り返っていただき、この徒歩事業の成果を検証した。

○１０月公開定例会

開 催 日：平成２７年１０月２５日（日）

開催場所：五所川原市内　ねぷた運行団体　誠和会製作小屋

参加員数：講師１名、対外２３名、対内１３名、合計３９名

事業内容：立佞武多絵師の福士裕朗氏を講師に招き、立佞武多の歴史を学びながら実際にその製作体験を行うことを通じて、郷土を愛しむ心とまつりに携わって来た人々への感謝の想いを醸成した。

かえりみて

入会してから３年間、五所川原青年会議所の三大事業の一つである「じょっぱりロード～ＯＭＯＩＹＡＲＩへの旅～」に携わり、今年度初委員長兼初団長を務めさせていただきました。

今年は「笑顔」をテーマに掲げ歩く距離や宿泊数よりもレクレーション交流に力を入れ、参加してくれる子供達・ボランティアが一回りも二回りも成長できるよう委員会メンバーで話し合い歴代団長の方々にもご意見を頂き挑んだ「じょっぱりロード２０１５～ＯＭＯＩＹＡＲＩへの旅～」はお陰様をもちまして無事に誰一人欠ける事なく「笑顔」でゴールする事が出来ました。子供達やボランティアはもちろん、私を含めた委員会全員が成長させていただきました。わんぱく相撲では、相撲の礼節や子供達の戦いの中での敗者への気遣いや子供達に教えられるものがたくさんあり感動をいただきました。

様々な事業を通じて、私は人が人を思いやることで生まれる感情は自分を成長させ、充実した時間を刻めると感銘を受けました。

青少年育成のために御協力して下さいました皆様、１年間ありがとうございました。

RESPECT～思いを思い思いやる心～

まつり継承委員会

構 成 メ ン バ ー

副理事長　　今　　一憲
委 員 長　　秋元　　隆
副委員長　　芹川　　臣
委　　員　　境谷　一智、松橋　康成、工藤　　誠、工藤　智哉、小笠原崇文

基 本 方 針

昭和４８年から地域に受け継がれてきた「虫おくり」に、我々青年会議所が火を加え「虫送りと火まつり」となり、その後も継承と発展を繰り返し、地域の皆様と先輩方に支えられ「奥津軽虫と火まつり」に名称を変え、今年度４３回目を迎える五所川原の伝統行事の一つとなりました。しかし、まつりに携わる人材の不足、それに加えて企業や地域の参加団体の減少により、まつり自体の継承も今後危ぶまれている状況です。今こそ、この素晴らしいまつりの魅力を継承し、発展させていかなければなりません。

そのためには、まつりを支えてきて頂いた方々や当会議所ＯＢと今後のまつりについて話し合い、方向性を定め、発展のための意見交換などを行います。その上で、地域で育まれてきたまつりの価値を地域の皆様と共に認識し、小松明などを製作体験する定例会を開催致します。またこれまでの親善大使事業を通じて、地域の若い世代へのまつりの継承を進めていきます。そして、現代にふさわしい形に発展させ、一丸となって「奥津軽虫と火まつり」を開催し次代に向けて継承して参ります。

先人たちから継承されてきた「奥津軽虫と火まつり」。現代に即した部分の発展と、本質の部分の継承。両輪がしっかりと回ることにより、未来永劫、本質を見失うことなく受け継がれていく「まつり」となるよう邁進して参ります。

事 業 報 告

○５月公開定例会「まつりの価値を共に認識し未来へ発展させる」

開 催 日：平成２７年５月１７日（日）
開催場所：五所川原市中央公民館
参加員数：講師１名、対外７９名、会員３０名、合計１１０名
事業内容：虫おくり団体「飯積蟲會」から太田康成氏を講師にお招きし、先人達から続くこのまつりの継続について講話をいただきました。また、西北五地域から集まった高校生が話し合いをして、まつりの継続のためにどのような行動を起こせるのかを発表しました。

○奥津軽虫と火まつり親善大使活動

開 催 日：平成２７年５月１７日（日）～６月
開催場所：県内テレビ（ＡＴＶ　わっち）、五所川原市内
参加員数：対外９６名、会員４８名、合計１４４名
事業内容：県内の情報番組や新聞紙での広報活動をはじめ、市長表敬訪問、まつり運行経路となる街頭清掃活動、小学校へのまつり紙芝居の上演、まつり本番参加を実施し、まつりの観覧動員数を押し上げた。

○６月公開定例会「奥津軽虫と火まつり」

開 催 日：平成２７年６月２０日（土）

開催場所：五所川原市内（大町～岩木川河川敷）

参加員数：会員４６名、虫おくり団体、火まつり団体、市民観覧者

事業内容：立佞武多の館前から、参加団体（虫おくり・火まつり・演舞・囃子）の隊列が岩木川河川敷まで練り歩き、河原にて神職による神事と大虫の昇天の儀式を執り行った。まつりの最後には、地域の幸せを願う「弥栄三唱」が唱えられ滞りなく終えられた。

か え り み て

五所川原青年会議所の最大の事業といっても過言ではない「奥津軽虫と火まつり」。この事業を広く伝えるために親善大使事業を今年度も行わせていただきました。当初は親善大使に応募してくれるだろうか、自分たちがしっかりと広め伝えることできるだろうかという不安でいっぱいしたが、不器用ながらも各高校や大学に行き親善大使の募集をお願いしたところ、沢山の生徒さんの応募をいただき親善大使事業を行うことができました。事業においても親善大使の皆さんと小学校に行き、紙芝居や小松明製作などを通じて「奥津軽虫と火まつり」を少しでも広め伝えることができたと思っております。

今年度まつり継承委員会において活動し支えていただいた委員の皆様、副理事長、そして親善大使事業において御協力いただいた関係団体、学校の皆様本当にありがとうございました。

市民運動促進委員会

構 成 メ ン バ ー

副理事長　　佐々木邦和
委 員 長　　田中　宏明
副委員長　　對馬　央也
委　　員　　木村健太郎、山田　貴之、平山　智久、下川原伸彦、長谷川泰典

基 本 方 針

５１年の歴史のある五所川原青年会議所の今日があるのは、「明るい豊かな社会」の実現を目指し、不撓不屈の精神で継続的成長を遂げてきた先輩方の功績がある為です。我々はその歴史と意思を学び継承し、更なる発展へと向けて歩みを進めて行かなければなりません。そして、当会では更なる発展を「市民が誇れるまち」の創造と位置づけ、市民の声を基にした確かな計画を持って、市民と共に行動して行く事が重要だと考えます。

当会では、市民の自治意識の向上と自治の担い手の育成を目的として、「市民」「行政」「青年会議所」が連携して行う「市民討議会」を開催致します。また、まちづくり事業を通じて五所川原市の発展に寄与することを目的として、市民との協働による「らぶ・ごしょがわら運動」を展開して参ります。かつ、これらの運動が「市民が誇れるまち」の創造へと発展するよう、市民と共に思案し行動する機会を創造致します。

これらの運動は、地域のより輝かしい未来へ向けて確実な前進と考えます。そして、これは「明るい豊かな社会」の実現へ繋がるものと信じております。この運動は素晴らしいものと仲間と実感できる日が必ず来るという強い信念を持ち、一年間邁進して参ります。

事 業 報 告

○らぶ・ごしょがわら実行委員会

開 催 日：通年
開催場所：五所川原市民学習情報センターほか
参加員数：対外８名、対内６名、合計１４名
事業内容：市民とともに私達でできる五所川原のまちづくり運動について企画運営し、本年は「ごしょりん健康体操推進事業」、「パパハグへの出店」、「青森放送わがまちＣＭ大賞への作品出展」、「五所川原産業まつりへのらぶごしょ弁当製作販売」を行った。

○五所川原市民討議会

開 催 日：平成２７年７月１１日（土）
開催場所：五所川原市民学習情報センター
参加員数：対外４２名、対内１７名、合計５９名
事業内容：無作為に抽出された１５００名の市民の中から３５名の参加を得て、五所川原市総合計画重点戦略をもとに地域の課題解決に向けた行動についてグループワークをしていただきました。

○１１月定例会「市民討議会報告会」

開 催 日：平成２７年１１月１８日（水）

開催場所：五所川原市民学習情報センター

参加員数：対外４２名、対内１７名、合計５９名

事業内容：７月に開催された市民討議会での意見集約をもとに、来年度のらぶ・ごしょがわら実行委員会での事業実現に向けて参加市民主体の企画立案を行った。

○ふるさと自慢わがまちＣＭ大賞

開 催 日：平成２７年１１月１５日（日）

開催場所：青森保健大学　講堂

参加員数：対外３００名、対内４名、合計３０４名

事業内容：五所川原のまつりである立佞武多を題材にしたＣＭを作成した。

か え り み て

今年度、当委員会は「市民が誇れるまち」をキーワードに、ＪＣ外部の人間とも密に関わりながら、他団体の活動にも参画しました。

市民討議会実委では、市役所・弘大の平井先生と連携し市民の地域参画の意識向上を目的に市民討議会と報告会を開催し市長報告を行いました。討議会アンケートでは「このような事業があればまた参加したい」と全回答でしたので、市民意識が向上したと考えております。

らぶごしょ実委では、市民会員とＪＣ会員が協力し市の発展に寄与する為、らぶごしょ探検隊・ごしょりん体操・パパハグ・らぶごしょ弁当・ＣＭ大賞の事業を行い、ごしょりん体操では「またあしたプロジェクト」とも連携しまちづくり事業を行いました。らぶごしょ探検隊では「普段できない体験」をコンセプトに実施し、アンケートでは「おもしろかった」と全回答でしたので、小学生の郷土愛が育まれたと考えております。ＣＭ大賞では市民会員が主導し数年ぶりの受賞から盛り上がり、市民会員の意識は向上しております。

今年度、初委員長を務め最初の委員会はひどい雰囲気でしたが、事業を重ねる度に私を始め委員の意識も高まり、まともな委員会風景になってきました。事業を通じ、また外部の人間の高い意識に触れる事で、当委員会が事業対象者よりも地域への参画意識が向上し、郷土愛が深まり成長できた事を協力下さった方に感謝します。

五所川原市民討議会

五所川原市民討議会報告会

後援：公益社団法人五所川原青年会議所
ふるさとの魅力再発見！
らぶ・ごしょがわら探検隊
日時：10/4日
先着各コース20名
参加者募集!!
対象：小学4～6年生
五所川原コース
らぶごしょクエスト
渡されたクエストマップをたよりに楽しく学びながら歩いて、より多くの目的地をクリアして景品をGETせよ！
金木コース
十二本ヤストレッキング
十二本ヤスと七ツ滝をめぐり、かなぎ元気村で昔遊び！金木の山をトレッキングし木や花の大自然とふれあい昔ながらの家で昔遊びをしてみんなで楽しい思い出を作ろう
市浦コース
十三湊ロマンクルーズ
中の島歴史民俗資料館を見学し中世の十三湊を知る。その後はしじみ取りをしておみやげに、そして十三湖を釣舟でクルーズ！中世の十三湊のロマンをイメージする

会員資質向上委員会

構 成 メ ン バ ー

副理事長　　高橋　美奈
委 員 長　　島村　豊次
副委員長　　平山　稔洋
委　　員　　平田ユキ子、平田　浩介、鎌田　智行、髙橋　尚裕、近藤　陽介、成田　若菜

基 本 方 針

我々、五所川原青年会議所は長きに渡り地域の明るい豊かな社会実現の為に活動して参りました。様々な運動をしていく中で会員同士が切磋琢磨し、信頼関係を構築して、地域活性化の為に日々奮闘し運動しなければなりません。そして市民意識変革団体として運動していく為には、我々ＪＡＹＣＥＥがこの地域の方々の旗手となり、会員一人ひとりの資質向上を行う事で、五所川原青年会議所全体の成長に繋げていかなければなりません。

今年度、当委員会の活動といたしましては、会員が新たな気づきを得られる定例会や、新入会員が青年会議所について学べる機会としてのセミナーを開催します。また、近年、五所川原青年会議所の記念事業が続き、会員同士の交流の場が少なくなっております。そこで今年は会員同士が楽しく交流ができる場として交流事業を開催いたします。これらの事業を行う事で「修練」「奉仕」「友情」という３信条の基礎を構築することができ、ＪＡＹＣＥＥとしての自覚を持って行動できるよう活動して参ります。

青年会議所は２０歳から４０歳までと限られた時間の中で活動しております。会員同士が互いを理解し、共に成長する事で五所川原青年会議所が地域からより必要とされる団体になれるよう、人材育成に取り組み一年間邁進して参ります。

事 業 報 告

○４月定例会「地域の為に我々が今学ぶべきこと！～東北ＪＣ宣言から学ぶ活動意義～」

開 催 日：平成２７年４月１６日（木）
開催場所：五所川原市中央公民館　３Ｆ視聴覚室
参加員数：講師１名、会員３３名、合計３４名
事業内容：東北ＪＣ宣言の策定担当者である松本光功先輩をお招きし、策定された当時の時代背景と想いを講演いただくことで青年会議所運動に携わるその意義を学んだ。

○ＯＢとの交流会

開 催 日：平成２７年６月１２日（金）
開催場所：五所川原市広田　市役所格納庫
参加員数：ＯＢ８名、会員２２名、合計３０名
事業内容：奥津軽虫と火まつりの製作作業を共に行い、まつりに対しての価値観を共有するとともに懇親を深めた。

〇会員交流会

開 催 日：平成２７年８月２６日（水）

開催場所：五所川原市中央公民館

参加員数：対外１名、会員２８名、合計２９名

事業内容：会員を複数のグループに振り分け、運動競技を通して会員間の交流と連帯感を高めました。

〇新入会員セミナー

開 催 日：平成２７年１１月２６日（金）

開催場所：五所川原商工会館

参加員数：講師１名、会員２７名、合計２８名

事業内容：青年会議所という全国組織の概要とその運動目的について理解を深めるとともに、五所川原青年会議所２００８年度理事長を務められた東慎治先輩を講師に迎えて、青年会議所で何を経験し考え学び、それらを現在に活かしているのかという講話をいただきました。

か え り み て

今年一年、会員資質向上委員会の委員長として委員の皆さんと共に活動して参りました。委員長として今年何を行っていいのかイメージがわきませんでした。委員会を何回も行っていく内に自分が何をしたいのか固まっていきました。４月定例会では講師にお越しいただき東北地区にしかない綱領文に込めた想いを勉強し、ＯＢ交流会ではシニアの方と一緒に松明を製作し先輩方が今まで築き上げてきた経験を現役会員に教えてもらいました。会員交流会では楽しい運動会をテーマに行い、みんなで楽しみ、親睦も深まった事業となりました。新入会員セミナーでは、青年会議所の会員として活動していく為に必要な知識を勉強してもらい、講師に東慎治先輩をお呼びし、地域の為に我々が行っている活動の素晴らしさなどを講話して下さいました。新入会員のみならず、我々も大変勉強になったセミナーとなりました。今回委員長職を与えてくれた佐藤理事長、毎回事業を行う度、沢山ご参加下さった会員の皆様ありがとうございました。又、委員会の方々の協力には感謝の気持ちでいっぱいです。今年一年間支えて下さりありがとうございました。

新 入 会 員 セ ミ ナ ー
JCI

会員拡大室

構 成 メ ン バ ー

室　　長　　荒関　晃介
担当理事　　佐々木篤史
拡大担当　　菊池　孝一、秋田　　純、芹川　　臣、原田美由紀、木村健太郎、鎌田　智行

基 本 方 針

我々五所川原青年会議所は長年の運動で数多くの事業を展開して参りました。一方で、運動を展開するために大切な会員の数が新入会員の減少により、年々減少傾向にあります。会員数の減少はこれからのＪＣ運動にも影響を及ぼすものであり、これに歯止めをかけるためにも会員一人ひとりが会員拡大の意義を自覚しなければなりません。そして会員が一丸となって「明るい豊かな社会」を目指す仲間を一人でも多く増やす必要があります。

今年度、当室では全会員で拡大に取り組み１０人以上の入会を目指します。そのために、拡大の必要性を伝える定例会を開催し、個々の意識高揚を図ります。また、会員拡大会議を開催し情報共有を行うと共に、会員と未来の仲間との関係を可視化し、全会員が拡大についての情報を共有できるツールを作製致します。そして、これを基に会員一人ひとりが会員拡大に努める「一人一カ所運動」を行います。更には、今年度も異業種交流会を行い青年会議所の魅力を伝えると共に会員拡大に努めます。

全会員が一丸となって拡大運動を行い、共に歩んでいく仲間が一人でも多くなることが五所川原青年会議所の未来に繋がり、そしてこれは「明るい豊かな社会」へ続くものと信じています。そのためにも当室では、これを実現するために一年間邁進して参ります。

事 業 報 告

○３月定例会「会員拡大の重要性を学ぼう」

開 催 日：平成２７年３月２４日（火）
開催場所：五所川原市民学習情報センター
参加員数：会員２２名
事業内容：会員数の減少は青年会議所運動の低下に直結しうることを理解し、会員拡大の必要性を共有しながら拡大運動への行動について話し合い、意識高揚を図った。

○第一回会員拡大会議

開 催 日：平成２７年４月７日（火）
開催場所：養老乃瀧五所川原店
参加員数：会員１８名
事業内容：現在ある会員候補者名簿をメンバーの情報により修正し、メンバーと候補者との関係情報を集約した会員拡大を行うためのツールを製作した。

○異業種交流会

開 催 日：平成２７年５月１５日（金）
開催場所：イズミボーリングセンター
参加員数：対外２６名、会員３０名、合計５６名
事業内容：現在の会員候補者の方々とスポーツのボーリングを通じて交流を図り、会員拡大への契機とした。

○若手ビジネスウーマン交流会

開 催 日：平成２７年７月１４日（火）
開催場所：五所川原市　串bar粋々
参加員数：対外６名、会員９名、合計１５名
事業内容：女性会員の拡大を目的として、地域で生業を立てている女性の方々と交流を図り、繋がりを作った。

○新入会員による異業種交流会

開 催 日：平成２７年１１月３０日（月）
開催場所：プラザマリュウ五所川原
参加員数：対外３４名、会員２２名、合計５６名
事業内容：五所川原青年会議所の会員増加を目的として、入会候補者の方々を招待して交流を図った。また、当該事業の企画運営を新入会員に担当していただいたことで、会員間、とりわけ新入会員間の連帯感が増大した。

か え り み て

「あっくんを漢（オトコ）にする！」荒関室長の意気込みで始まった二人三脚の拡大室。会員拡大をほとんどやったことが無い私がどのように行うべきか？期待と不安で始まった１年でしたがメンバーの皆様の協力のおかげで例会や異業種交流会等様々なことに挑戦させてもらうことができました。
拡大運動を始めるにあたり何が必要であると考え、入会人数を設定することにはこだわらず、一つ目にメンバー全員に拡大運動を経験してもらうこと。二つ目に拡大を通してメンバーの団結力を高めてもらいたいということを念頭に、今回は「一人一か所運動」を目標に一年間奮闘して参りました。結果として、これに賛同して頂いたメンバーのおかげで多くの新入会員を迎え入れることができたと感謝しております。

また、異業種交流会を今年はボウリング・女子会・新入会員企画の３種類を挑戦させて頂き、これもまたメンバーの協力により無事開催することができました。

最後に、様々な意見を下さいました理事の皆様、快く協力頂いた拡大担当の皆様、忙しい中拡大に協力頂いたメンバーの皆様本当にありがとうございました。そして私を漢にすると一年間奮闘して頂いた荒関室長には感謝と御礼を申し上げます。

公益社団法人 五所川原青年会議所 ２０１５年度 ３月定例会
会員拡大の重要性を学ぼう
JCI
GOSHOGAWARA

若手ビジネスウーマン
交　流　会

公益社団法人　五所川原青年会議所
２０１５年度異業種交流会

２０１５年度庶務報告

《入会者》

工　藤　智　哉　　（５月入会）
小　野　顕　成　　（５月入会）
髙　橋　尚　裕　　（５月入会）
大坂谷　　努　　（７月入会）
齋　藤　直飛人　　（７月入会）
外　﨑　　紳　　（９月入会）
坂　本　　光　　（９月入会）
小笠原　崇　文　　（９月入会）
豊　澤　孝　行　　（９月入会）
吉　田　博　貴　　（１２月入会）
近　藤　陽　介　　（１２月入会）
成　田　若　菜　　（１２月入会）

《卒業者》

境　谷　一　智　　（平成１６年入会）
神　成　修太郎　　（平成２０年入会）
荒　関　晃　介　　（平成２１年入会）
工　藤　晃　史　　（平成２５年入会）
工　藤　　誠　　（平成２５年入会）
乗　田　正　純　　（平成２６年入会）
長谷川　泰　典　　（平成２６年入会）
齋　藤　直飛人　　（平成２７年入会）

◇ＪＣ功労賞　　境谷　一智、神成修太郎、荒関　晃介、工藤　晃史
工藤　　誠、乗田　正純、長谷川泰典、齋藤直飛人

◇新人賞　　平山　稔洋

◇最優秀委員会賞　　市民運動促進委員会

◇理事長賞　　佐々木篤史、高橋　美奈、島村　豊次

◇優秀ＪＣ賞　　中西　宗興、上見　一嘉

◇最優秀ＪＣ賞　　菊池　孝一、平田ユキ子

２０１５年度行事一覧

月 日	行　　事	場　　所
１月		
６日	１４：第１４回理事会／１５：第１回　理事会	
１１日	新年祝賀会	ホテルサンルート五所川原
１３日	悠々会	ホテルサンルート五所川原
１９日	まつり部会長会議	
２１日	第２回三役会	
２３日	京都会議　～２５日	
２６日	１４：第５回臨時理事会	
２７日	らぶ・ごしょがわら総会・第１回実行委員会	中央公民館
２月		
２０日	第２回理事会／知事表敬訪問	
２４日	第２回らぶごしょ実行委員会	学習情報センター
２５日	説明会	プラザマリュウ五所川原
２６日	三役会	事務局
３月		
２日	１４：第６回臨時理事会／１５：第３回理事会	
３日	基金説明会	中央公民館
５日	第５回市民運動促進委員会／財務・事務会議	
	資質向上委員会	
９日	１４：第７回臨時理事会	
１２日	財務打ち込み	
１３日	公益特別室	事務局
１６日	第４回三役会	事務局
１８日	青森ブロック会長来訪	事務局
２０日	２０１４年度通常総会／１５：第２回臨時理事会	学習情報センター
２４日	３月定例会	学習情報センター
２６日	市民運動促進委員会	事務局
２７日	まつり第１回実行委員会	学習情報センター
３０日	第３回らぶごしょ実行委員会	中央公民館
４月		
１日	まつり部会長会議	事務局
２日	基金管理委員会	事務局
４日	市民運動促進委員会	事務局

月 日	行　　事	場　　所
６日	第４回理事会	
７日	第１回会員拡大会議	養老の瀧
８日	県財務事務所来局	
９日	資質向上委員会	事務局
１３日	青少年育成委員会	事務局
１６日	４月定例会	中央公民館
１７日	第３回臨時理事会	４階会議室
２２日	財務管理委員会	事務局
２３日	第２回まつり実行委員会	学習情報センター
２４日	第５回三役会	事務局
２５日	まつり作業始め	
２７日	予算書・決算書セミナー	
	第４回らぶごしょ実行委員会	
２９日	まつり事始祭	神明宮
３０日	財務管理委員会	
５月		
７日	第５回理事会	
１１日	青少年育成委員会	事務局
１５日	異業種ボウリング大会	イズミボウル
１６日	まつり継承委員会	事務局
１７日	５月定例会	中央公民館
２０日	財務管理委員会／まつり部会長会議	事務局
２１日	じょっぱり部会長会議	事務局
２２日	第６回三役会	事務局
２５日	野村證券来局（１５：３０）	
２６日	じょっぱりロード実行委員会	養老の瀧
２７日	まつり第３回実行委員会＆打合せ会	神明宮
２８日	らぶごしょ実行委員会	学習情報センター
２９日	財務管理委員会	事務局
６月		
１日	まつり警備打合せ（１３：３０～）	事務局
３日	市民討議会シミュレーション	
４日	第６回理事会	
８日	まつり参加者会議	中央公民館

月 日	行　　事	場　　所
９日	第４回臨時理事会	事務局
１０日	まつり部会長会議／市民運動促進委員会	
１２日	ＯＢ交流会	まつり製作小屋
１４日	じょっぱりロード第１回ボラ研	学習情報センター
１６日	まつり会員向け説明会	
１８日	河原作業（杉葉とり・河原区割り）	
１９日	まつり前夜祭	
２０日	奥津軽虫と火まつり	
２１日	まつり後片付け	
２３日	三役会／らぶごしょ第５回実行委員会	
２５日	市民討議会第２回シミュレーション	
	じょっぱり部会長会議	
２８日	第２回じょっぱりボラ研	学習情報センター
７月		
１日	市民運動促進委員会	
２日	市民運動促進委員会ファシリ練習	
６日	第７回理事会	
７日	市民運動促進委員会ファシリ練習／木村さん来局	
９日	じょっぱり部会長会議	
１１日	市民討議会	
１２日	第３回じょっぱりボラ研	
１３日	財務管理委員会	
１４日	女子会	粋々
１５日	臨時三役会	中央公民館
１６日	じょっぱり禊・安全祈願祭・実行委員会	
１７日	市民運動促進委員会（１９時～）	事務局
１９日	じょっぱり全体事業説明会	学習情報センター
２１日	第８回三役会	
２２日	７月定例会	学習情報センター
２３日	じょっぱり部会長会議	事務局
２９日	じょっぱりロード１日目／８月定例会	菊ヶ丘公園
８月		
２日	じょっぱり５日目修了式（１６時～）	学習情報センター
５日	臨時三役会	事務局

月 日	行　　事	場　　所
１０日	月次巡回監査（１４：３０）	
１１日	第８回理事会	４階会議室
１８日	第４回臨時理事会	事務局
	理事セミナー	
１９日	青少年育成委員会	事務局
２１日	第９回三役会	事務局
２４日	財務管理委員会	事務局
２５日	理事セミナー	事務局
２６日	会員交流会	中央公民館
２７日	青少年育成委員会	事務局
９月		
２日	第９回理事会	
３日	らぶごしょ第８回実行委員会（１９時～）	学習情報センター
４日	青少年育成委員会（１９時～）	事務局
８日	理事セミナー（１９時～）	事務局
９日	市民運動促進委員会㊙会議	
１０日	月次巡回監査（１３時）／異業種交流会企画会議	
１３日	じょっぱり事業報告会（１３時～）	学習情報センター
１６日	９月通常総会（１８時～ドラフト／１９時～総会）	
１８日	第１０回三役会	
２０日	災害支援ボランティア（大崎市）	
２８日	らぶごしょ実行委員会	
３０日	１６：第１回予定者理事会（１９時～）	４階会議室
１０月		
２日	市民運動促進委員会（１８時～）	事務局
４日	らぶ・ごしょがわら探検隊	
６日	第１０回理事会	
１３日	まつり第４回実行委員会及び反省会	
１４日	１６：第２回予定者理事会（１９時～）	４階会議室
１５日	支払日／財務管理委員会／資質向上委員会	
１７日	ゴルフ交流会理事長杯	
１９日	１５：臨時理事会（１９時～）	事務局
	１６：総務委員会（２０時～）	事務局
２１日	月次巡回監査（１３時）／三役会（１９時～）	事務局

月 日	行　　事	場　　所
２２日	１６：第１回予定者三役会（１９時～）	事務局
２５日	１０月定例会	
２９日	１６：第３回予定者理事会（１９時～）	４階会議室
３０日	わんぱく祝勝会（１９時～）	養老の瀧
１１月		
５日	第１１回理事会（１９時～）	４階会議室
９日	１５：市民運動促進委員会（１９時～）	事務局
１０日	１６：まつり委員会（１９時～）	事務局
１２日	ＳＵＳ委員会（１９時～）	事務局
１３日	財務管理委員会（１９時～）	事務局
１６日	支払日／月次巡回監査（１３時～）	事務局
１７日	１６：第４回予定者理事会	
１８日	１１月定例会（１７時３０分～）	学習情報センター
１９日	異業種交流会会議（１９時～）	事務局
２０日	会員資質向上委員会（１９時～）	事務局
２３日	三役会	
２５日	新入会員セミナー（１９時～）	４階会議室
２７日	委員会セミナー（１９時～）	事務局
３０日	異業種交流会（１９時～）	プラザマリュウ五所川原
１２月		
２日	第５回予定者理事会（１９時～）	４階会議室
８日	五所川原ＦＭ放送番組審議会（１１時～）	ホテルサンルート五所川原
１０日	第６回予定者理事会／第１２回理事会	４階会議室
１１日	月次巡回監査（１３時～）	事務局
１２日	らぶごしょ決算総会＆忘年会（１９時～）	養老の瀧
１４日	確認検査（９時３０分～１６時）	事務局
１５日	支払日／ブロ長来局（１６時～）	
１７日	忘年理事会（１９時～）	４階会議室
１８日	１６：総務委員会（１７時～）	事務局
２０日	１２月定例会・卒業式／クリスマス家族交流会	プラザマリュウ五所川原
２１日	ＯＢとの顔合わせ	
２２日	１６：まつり委員会（１９時～）	事務局
２５日	１６：総務委員会（１３時～）	事務局
２８日	御用納め／１６：第１回三役会	